

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年4月19日

【評価実施概要】

事業所番号	0270201072		
法人名	医療法人恩幸会		
事業所名	グループホームやすらぎ		
所在地 (電話番号)	〒036-8124 青森県弘前市石川字大仏下53 (電話) 0172-49-7035		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成22年3月5日	評価確定日	平成22年4月19日

【情報提供票より】(平成 22年 1月 26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 9人, 非常勤 7人, 常勤換算	12.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	7,500 ~ 冬期9,000 円	
敷金	有() 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(1月 26日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	7 名	要介護4	6 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 79.5 歳	最低	78 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	工藤医院、工藤歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>事業所は国道から一つ入った住宅街にあるが、周りにはりんご園が多く静かな環境である。グループホームの周辺に同法人の医療機関、歯科医院、訪問看護ステーションが点在し、日常的な健康管理や急変時の協力体制が図られており、利用者・家族にとってもまた、職員にとっても安心して生活できる環境となっている。何より職員は利用者には添った穏やかな支援がなされ、一人ひとりの思いの実現に努めている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>「運営推進会議の欠席者への報告」、「運営に関する家族等の意見の反映」、「権利擁護に関する制度の理解と活用」が前回評価での改善課題だったが、管理者の交代もあり、改善に向け検討している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価や外部評価結果について運営者、管理者のみならず職員全体で話し合う機会を設け、評価の意義、目的を理解し気付きや業務改善につなげられる事を期待したい。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的開催されており、地域住民や町会長、地域包括支援センター職員、家族等幅広いメンバーの参加があり、ホーム内の状況報告や感染症の罹患状況等の報告をし、各委員から出された意見等を参考にサービスの向上に努めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>玄関、居室内に連絡ノートを設置して意見や要望を表せる機会を設けているが、意見、要望の記入はなく、家族の面会時に積極的に要望を伺っている。他に「たより」などの発行誌と一緒に外部評価の結果や運営推進会議等で出された検討内容を送付するなどして積極的な働きかけに期待したい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営推進会議への参加に声をかけたり、玄関前の花壇やぶどう棚の手入れに来ていただくなど日常的に交流が図られている。また、事業所の行事や特に夏祭りにはポスターなどを利用し、積極的に働きかけるなどして地域住民との良好な関係が構築されている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時からの理念「自分らしく、和やかに、いつも笑顔で」を基本に、家庭的な雰囲気と地域との交流を大事にすることを常に心がけている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を理解し、利用者が自分らしさを発揮できるように支援している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	事業所前の畑の手入れに来てくれたりと、隣近所の方と交流がある。また、児童館の子供達、子供会、中学生の体験訪問がある。事業所から地域の行事に参加したりと、認知症の普及活動をしながら積極的に地域住民と交流している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者が職員より意見を聞き取り、自己評価を作成している。結果については会議で話し合いを持っている。</p>		<p>全職員が評価の意義を理解するための会議を設け、サービスの質の確保や向上を図ることに期待したい。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は定期的開催され、地域住民や町会長、地域包括支援センター職員、家族等幅広いメンバーの参加があり、事業所の取り組みを公表し、意見を頂きながらサービス向上に取り組んでいる。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>課題等があれば積極的に問い合わせをし、確認しながら協議したりメール等で情報を共有するなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護事業や成年後見制度の理解に関して、研修会への参加や勉強会等の開催が行われていない。</p>		<p>研修会等への参加や定期的に勉強会を開催するなど、必要時に全職員が対応できる体制の構築に期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>マニュアルを作成し、日々利用者とのふれあいの中で職員同士声を掛け合い、虐待の防止に努めている。</p>		<p>マニュアルを作成し日々注意を払い、虐待防止に努めている。他に研修会への参加、勉強会等で虐待防止法のより深い理解への取り組みを期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、時間をかけて説明している。不安要素を聞き出し納得して頂き、同意を得て契約している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>定期的に面会に来られる家族へはその都度、職員より状況を報告している。面会の少ないご家族へは管理者が電話にて報告し、金銭管理に関しては郵送している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関・居室へ家族からの意見ノートを設置し意見・要望の吸い上げに意欲的に取り組んでいる。実際ノートへの記入はないが、面会時には職員より声を掛け意見・要望の聞き取りをし、検討後に運営推進委員会へ報告をし取り組んでいる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は2ユニット間でのみ行われている。また、離職者がいる場合は利用者へ影響のないよう引継ぎを心がけ、家族へ報告している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への参加はあるが、報告会、内部研修会等が行われていない。		研修会等へ参加した際の報告会や報告書へ目を通すための工夫、職員の段階に応じた研修会参加の体制作りに期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のグループホーム協会へ加入し、情報交換している。		同業者間での意見交換、情報交換等を図り、ネットワークの強化に期待したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	同法人の医療機関、在宅サービス系、有料ホーム等からの紹介もあり、事業所を理解し入居され、徐々に馴染めるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	事業所前の畑で一緒に作業するなど、お互いに支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を取り入れ、利用者の思いを確認し、対話の時間を多く持ち、希望、意向を伺い支援している。		センター方式、対話等に関する記録を取り、全職員で共有できるケース記録の作成に期待したい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスの際に情報を収集し、利用者本位の介護計画作りに努めている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	2ヶ月に1回担当者会議を開催している。また、急変時は即対応可能な体制になっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	近隣に協力病院・訪問看護ステーションがあり、入院、往診等の協力体制が構築されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>法人の医療機関と協力体制がとれ、週2回の往診を受け、夜間の往診も可能となっている。専門医の受診等は入居前からのかかりつけ医を継続して通院している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>同法人の医療機関があり、重度化へ対応できる体制を構築しており、入居時から利用者、家族、職員、医師と話し合いを持っている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の自尊心に充分配慮した対応がされている。また、個人情報の取り扱いにも日々注意している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の希望に沿った、利用者のペースに合わせた生活支援がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者が入居以前から使用していた食器を使い、状態に合わせ食べやすい工夫をしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回の入浴を基本に、利用者の希望(入浴時間等)に沿うように支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者の生活歴を参考にしながら、負担にならない様に配慮し、張り合いや楽しみが持てるように支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>行事での外出はもちろん、利用者の希望に合わせて外出できるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し、身体拘束のない支援を実施している。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けない支援を実施し、無断外出に関する配慮は十分に行っている。利用者の行動は把握されており、居室の戸、玄関戸への工夫もされている。また、警察や消防署へは緊急時の協力依頼を行っている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署立会いで避難訓練を実施している。また、地域の方々の協力を得られるよう働きかけている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の希望を聞きながら栄養のバランスを考え、1週間の献立を作成している。食事形態は刻み、とろみ食への対応や、水分量の把握をするなどの支援をしている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、玄関への手指消毒の設置や加湿器を設置して注意している。緊急時は同法人の医師からの指示を仰ぎながら感染予防を徹底している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は明るく、家庭的な雰囲気となっている。利用者にとって居心地よく過ごせる環境スペースとなっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が安心して過ごせるよう、使い慣れた家具や写真等が持ち込まれ、本人に合った居室作りがされている。</p>		

 は、重点項目。